

第4学年 社会科 学習指導案

1. 小単元名『水害にそなえるまちづくり』

(教科書：『小学社会4』p. 82～115／学習指導要領：内容（3）)

2. 小単元の目標

自然災害から人々を守る活動について調べ、関係機関や地域の人が、自然災害に対して協力して対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを捉えさせる。

3. 小単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 県庁や市役所などの関係機関、地域の人々の取組についてHPや資料を活用して、必要な情報を読み取ったり、まとめたりしている。・ 関係機関や地域の人が、自然災害に対して協力して対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。 | <ul style="list-style-type: none">・ 過去に発生した地域の自然災害に着目して、問いを見出し、自然災害から自分たちを守る活動について考え、表現している。・ 自然災害から人々を守る活動の様子について、関係機関の協力やその働きを考え、適切に表現している。 | <ul style="list-style-type: none">・ 自然災害から人々を守る活動について予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。・ 学んだことをもとに、自然災害に備えて自分たちにできることを考えようとしている。 |

4. 指導にあたって

(1) 教材について

平成30年7月に発生した西日本豪雨では、岡山県、広島県を中心に甚大な被害が発生した。九州地方においても、初の大雨特別警報が発令され、多くの地域で自然災害のおそろしさを実感することとなった。本小単元では、自分たちの住む地域でどのような自然災害が発生する可能性があるのか、どのような備えをしておく必要があるのか、発生した場合は誰がどのようにして人々の生活を守っていくのかについて、過去の災害や自分たちの生活経験に照らして考えていく。

新聞やニュースから得られる被害の情報は、明日の自分たちにも起こり得ることであることを捉え、自分事として日頃から防災の意識を高めることの大切さや、自分たちが住んでいる地域の組織的な防災の営みを調べ、今後想定される自然災害に対し、様々な備えをしていることをつかませたい。

(2) 指導上の工夫・留意点

本単元では、学校周辺の冠水時の状況や、地域のハザードマップ、市の防災基本計画などを活用する。また、これまでに学んだ水道水の確保に関する学習を想起しながら、自然災害が引き起こす非日常の状況にどのように対応しているのかを調べていく。その際に、家族や専門家への聞き取りや、市の防災に関するHPから情報を集め、自分たちの生活との関わりを意識させながら、どのような備えが必要かを考えたり、意見交換したりする場をつくっていきたい。

5. 小単元の指導計画(総時数8時間)

| 時 | ねらい | ○学習活動 ・内容 | ◎使う資料◇留意点◆評価 |
|--|---|---|--|
| ① (つかむ (学習問題をつくる)) | 自然災害の被害の様子などを調べ、自然災害から自分たちの命や暮らしを守るための工夫や努力について考えていく学習問題をつくる。 | <p>○自然災害の被害の様子を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成 30 年西日本豪雨」による被害の大きさを捉える。 ・同日の学校周辺の状況を調べる。 <p>○長崎県で発生した過去の自然災害について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1957 年の諫早大水害 ・1967 年の佐世保水害 ・1982 年の長崎大水害 ・台風や梅雨時期の大雨による水害が繰り返し起きている。 <p>○自然災害について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害はおそろしい。 ・いつ発生するかわからない。 ・もし発生したら、どうやって避難したらいいかわからない。 ・準備が大切。 ・誰が自分たちを守ってくれるのか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習問題 自然災害から、自分たちの命や暮らしを守るための工夫や努力を調べよう。</p> </div> | <p>◎ニュース映像</p> <p>◎学校周辺の写真</p> <p>◎佐世保水害の写真</p> <p>◎長崎県の災害年表</p> <p>◎地図帳</p> <p>◇災害年表や地図帳から、自然災害が県内の広い範囲で繰り返し起きていることを捉える。</p> <p>◆自然災害から、自分たちの命や暮らしを守るための工夫や努力について調べるための学習問題を考え、表現している。 (思・判・表/発言)</p> |
| ② ③ (つかむ (学習問題の答えを予想し、調べる計画を立てる)) | 学習問題について予想し、調べるための見通しをもつ。 | <p>○学習問題について予想する。 (自然災害が起こる前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでできること。 ・地域で行っていること。 ・学校で行っていること。 ・県や市の取り組み。 ・国の機関や自衛隊の取り組み。 <p>(自然災害が起こった後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでできること。 ・地域で行っていること。 ・学校で行っていること。 ・県や市の取り組み。 ・国の機関や自衛隊の取り組み。 ・ボランティアの方々の取り組み。 <p>○予想について検証するための計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでできることについて、家庭での準備の様子を調べたり、家の人へインタビューをしたりする。 ・地域で行っていることについて、自治会の方に尋ねる。 ・学校で行っていることを振り返る。 ・県や市の取り組みについての資料を集めて調べる。 ・国の機関や自衛隊の取り組みについてインターネットを使って調べる。 ・ボランティアの方々の取り組みについて、ニュースや新聞などの情報をもとに調べる。 | <p>◇自然災害が起こる前と起こった後に分けて予想する。</p> <p>◇調べること、調べ方を考える。</p> <p>◆学習問題について予想や学習計画を立て、主体的に問いを追究しようとしている。 (態/発言, ノート)</p> |

| | | | |
|---|---|--|---|
| <p>④ ⑤ ⑥ ⑦ (資料を活用して調べる)</p> | <p>自然災害に対する予防, 対策, 復旧について, 自助, 共助, 公助の視点から調べて捉える。</p> | <p>○自然災害に対して自分たちにできること(自助)を考える。 (予防) ・災害が起こる前の備え(物がまえ, 心がまえ)が大切。 ・防災グッズを準備する。 ・避難場所を確認しておく。 ○自然災害に対する県や市の取り組み(公助)について調べる。 (予防) ・ハザードマップによる災害危険箇所の呼びかけ。 ・河川, 下水道を整備する。 ・河川の監視を行う。 (対策) ・災害対策基本計画をつくる。(避難所の設置, 食料確保, 救護, インフラ整備, ボランティアの募集など) (復旧) ・災害復旧計画をつくる。(復旧計画の作成, 被災者支援など) ○地域やボランティアの取り組み(共助)について調べる。 (予防) ・自主防災組織をつくる。 (対策) ・協力し, 助け合う。 (復旧) ・ボランティア活動を行う。</p> | <p>◎家の人へのインタビュー結果 ◎県や市の防災計画 ◎省庁や自衛隊のHP ◎自治会の人へのインタビュー結果 ◎ボランティアの取り組みについての新聞記事 ◇「災害が起きる前(予防)」と「災害が起きた後(対策・復旧)」に分けて考えるように助言する。 ◇各自が付箋に書き出し, 班ごとに「自分たち(地域の人たち)の取り組み」, 「県や市などの取り組み」, 「わからない」に分類してまとめる。</p> <p>◆自然災害に対する自助・公助・共助の働きを捉えている。 (知・技/発言, ノート)</p> |
| <p>⑧ (まとめる(学習問題の答えを確かめる))</p> | <p>自然災害に対する自助・共助・公助の取り組みについて新聞にまとめ, 様々な機関や人々の協力, 自分たちにできることを考え, 表現する。</p> | <p>○調べてきたことを振り返り, 学習問題について考える。 ・どんな工夫や努力があったか。 ・どんなキーワードがあったか。 ・これからの自分にできること。 ○学習問題の答えについて, 新聞にまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自然災害から, 自分たちの命や暮らしを守るために, 地域や市, 県などいろいろな人が工夫や努力をしている。自分たちにできることは自分でする(自助), 地域の人と自分たちの生活を一緒に守っていく(共助), 市や県の支えを受けて自然災害への備えをしていく(公助)等の考えが重要である。特に「公助」については, 自然災害が発生する前(予防)と発生した後(対策・復旧)で, 様々な計画がつくられている。自然災害が起こったときには, それらの計画をスムーズに進めることができるように, みんなで力を合わせていかなければならない。</p> </div> | <p>◇学習してきたことを全体で振り返った後, 新聞にまとめる。 ◇自分たちにできることも考えられるようにする。</p> <p>◆自然災害に対する自助・共助・公助の取り組みの大切さについて考え, 表現している。 (思・判・表/発言, 作品) ◆学習したことをもとに, 自然災害に備えて自分たちにできることを考えようとしている。 (態/発言, 作品)</p> |

6. 本時の指導(第1時)

(1) 本時のねらい

私たちの身のまわりで発生している自然災害の被害の様子などを調べることを通して、自然災害から私たちの命や暮らしを守るための工夫や努力について追究していく学習問題をつくる。

(2) 本時の展開

| 時配 | ○学習活動 T:発問 C:児童の反応 | ◎使う資料 ◇留意点 ◆評価 |
|----|---|---|
| 3 | <p>○これまでの学習を振り返る。</p> <p>T:この前の水についての学習では、どんなことを学びましたか。</p> <p>C:水道局の人が水をきれいにしておいた私たちの家庭に届けていることがわかりました。</p> <p>C:佐世保は水事情が厳しいことや、昔は給水制限などがあって大変だったことがわかりました。</p> <p>T:水は、どこでも安心安全に使えるものですが、それができないところがあります。</p> <p>C:被災地などでは、水が止まってしまいます。</p> <p>T:災害時のニュースの映像を見てみましょう。</p> | <p>◇前の単元で安全な水を確保するための工夫や努力について学んだことを振り返り、水害の話題につなげる。</p> |
| 7 | <p>○西日本豪雨災害の動画を視聴する。</p> <p>T:「平成30年西日本豪雨」の映像です。どんな被害がありそうですか。</p> <p>C:家の中のたんすなどが倒れて、家に入れなくなっています。</p> <p>C:川があふれて、道が見えなくなっています。</p> <p>C:小さな船に乗って逃げています。</p> <p>T:このような被害にあったら、安全な場所に避難しなければなりません。時間が経って被害がわかってきました。</p> <p>T:最終的には230人近くの人が亡くなったそうです。岡山県や広島県で特に被害が大きくなりました。</p> | ◎ニュース映像 |
| 10 | <p>○同じ日の自分たちの学校の様子を思い出す。</p> <p>T:この日は、長崎でも大雨特別警報が出されました。みなさんも集団下校をしましたね。学校の周りはどうなっていたと思いますか。</p> <p>C:うわあ、歩けない。洪水みたい。</p> <p>C:どのくらいまで水が来ているのかな。</p> <p>T:普段、車が通ったり人が歩いたりするところまで水がどんどん浸水してくることを、「冠水」といいます。</p> <p>T:岡山や広島のような大きな被害にはなりませんでした。もっと雨が降っていたら、危険なことになっていた可能性があります。</p> | ◎学校周辺の写真(平常時と冠水時の写真を撮影しておく) |
| 10 | <p>○自然災害の種類や、自分たちの住んでいる県で多く発生する自然災害について確認する。</p> <p>T:このときは水で被害を受けていますが、私たちが生活をする上で、人間の力ではどうしようもないものによって、普段の生活を壊されてしまうことがありますよね。</p> <p>C:自然災害…</p> <p>C:地震や津波。大震災がありました。</p> <p>C:台風ときはどうにもなりません。</p> <p>T:長崎県では、どんな自然災害が起きていますか。</p> <p>C:大雨がよく降ります。</p> <p>C:台風が来ることが多いです。</p> <p>C:でも、台風はそれることもあります。</p> <p>T:長崎県では、大雨や台風による「水害」が多く発生しています。</p> | <p>◇自然災害には、どのようなものがあるのかを思い出させ、自分たちの住んでいる地域では、どの自然災害が多く発生しているかを考えさせる。</p> <p>◎長崎で起こった主な災害(年表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1957年7月 諫早大水害(死者781人) ・1967年7月 佐世保水害(死者50人) ・1982年7月 長崎大水害(死者299人) ・1990年11月～1991年6月 |

| | | |
|----|--|---|
| | <p>C：たくさんの方が亡くなっています。 C：50年以上前に災害が起こっています。 C：佐世保でも水害が発生しています。 C：水害だけでなく、噴火も起こっています。 T：地図で災害が起こった場所を確認してみましょう。 C：長崎県のいろいろなところで自然災害が起こっています。 C：どこで起こってもおかしくないので心配です。</p> | <p>雲仙普賢岳噴火(死者・行方不明者44人) ◎地図帳 ◇県内の広い範囲で自然災害が発生していることを意識させる。</p> |
| 5 | <p>○佐世保水害の様子について確認する。 T：佐世保水害の当時の写真があるので見てみましょう。 C：海の近くみたい。波がすごい。 C：こんな状況になったら怖い。 C：大きな台風が来たら、またこんなことになるかも。</p> | ◎佐世保水害の写真 |
| 10 | <p>○これから追究していく学習問題を考える。 T：自然災害は、いつ発生するかわからないので、油断はできませんね。しかし、万が一発生したら、みなさんはどうしますか。 C：避難します。 C：家族で逃げます。 C：家族が離れ離れになったら怖いです。 T：すぐ避難できるような準備をしていますか。準備している人は挙手してください。 C：はい(5名) / いいえ(30名) T：自然災害が発生したら、西日本豪雨や佐世保水害のような被害が出るかもしれません。みなさんの命や普段の生活も壊されてしまうかもしれません。 T：こんなときに、みなさんの暮らしを守ってくれるのは、誰ですか。 C：家族。 C：警察、消防の人。 C：市役所の方が知らせてくれます。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習問題 自然災害から、自分たちの命や暮らしを守るための工夫や努力を調べよう。</p> </div> <p>T：では、次の時間は調べていくための計画を考えましょう。</p> | <p>◇これまでの資料をもとに、自然災害が発生したときに、自分たちの命や暮らしを守ってくれる存在について考え、これから追究していく学習問題を設定する。</p> <p>◆自然災害から、自分たちの命や暮らしを守るための工夫や努力について考えるための学習問題を考え、表現している。(思・判・表/発言)</p> |

(3) 板書

